

# 1年学年だより 第21号



## ☆2学期が始まりました☆

いよいよ2学期が始まりましたね。1学期は異例の事態から始まり、先生たちも右往左往しながら、みなさんと対面したことを思い出します。その際、48期生みなさんの協力もあり、何とかスムーズに進めることができました。本当にありがとうございます。

そしてあれから、もう4か月が経ちます。この4か月で何か自分自身に変化はありましたか。変化を感じている人、変化をまだ感じていない人、それぞれだと思います。しかし、先生たちは、確実にみなさんが変化(成長)している姿を実感しています。それは今週の初めの始業式から嬉しい言葉が聞けたというもあります。リモート始業式で瀬々先生からの言葉を覚えていませんか。「1年生はあいさつが大変よくできています。ここ数年なかったことなので、素晴らしいと思います。」この言葉を聞いてみなさんはどう思いましたか。「いや、あいさつするのは当たり前のことやん」「いっつも意識してあいさつしてるから、成果が出てる!」など、それぞれだと思いますが、その行動が「礼儀」につながっているんですよ。君たちがしていることは決して無駄ではないことを覚えておいてください。

もう一つあります。それは火曜日の朝にあった学年集会のときの出来事です。先生たちは久しぶりに鳥肌が立ちました。それは、君たちが先生の指示を受けることなく、集合時間前に全員がきちんと体育館に整列していたことです。このような様子を見るのは、とても久しぶりで、感動さえ覚えました。これはみなさんが、日々どれだけ「意識」しているか、先生たちも確認できたところでもあります。

ただ、これがずっと続くというわけではありません。いつかどこかのタイミングで、意識しているはずの気持ちが、「ポキッ」と折れてしまうこともあります。それも人間なので絶対あり得ることです。その時には、周りの友達が声をかけたり、また先生たちからも、もちろん声をかけることもあります。「気持ちが折れてしまうのが当たり前」のではなく、「どれだけ気持ちが折れてしまうのを遅らすことができるか」ということにもつながると思います。そうすることによって、気付けば1年経っていたということにもなるかもしれません。そこは先生たちも見守りながら、君たちの行動・様子を見せてもらおうかと思っています。

この先、いろんな行事があります。今は、国語で「ビブリオバトル」があり、数か月先には「体育大会」「校外学習」が実施されます。みなさんは「今、この瞬間」というものをとても一生懸命取り組んでいます。その姿勢をできる限り持続させられるように、48期生全員で声をかけあって、学校生活に取り組んでいきましょう。

